

収支の概況

- 世界的な燃料価格の上昇や卸電力市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加などにより、当社の収支・財務状況が急速に悪化したことから、2023年6月、電気料金の値上げを実施させていただきました。
- 2023年度の経常利益は、電気料金の見直しに加え、燃料費等調整制度の期ずれ影響が収支の好転に大きく寄与したこと、さらにカイゼン活動・DXの推進や期中における収支改善に取り組んだことなどにより、690億円となりました。
- 2023年度末の純資産は、2023年度の当期純利益541億円を計上したことなどにより、2,588億円（自己資本比率13.2%）となりました。しかし、これは震災以前である2010年度末の純資産3,659億円（自己資本比率23.2%）に比べ低い水準であり、また、有利子負債残高については1兆3,972億円となっており、依然として当社の財務状況は回復の途上にあると考えています。
- 当期純利益につきましては、配当および内部留保の充実にあて、内部留保資金につきましては、設備投資ならびに財務体質の改善等に活用しています。
- 今後、カーボンニュートラルの実現や中長期的な電力需要の増加を見据えた投資を行っていく必要があり、そのためには、さらなる収支・財務状況の改善が必要と考えていることから、グループ一体となって中長期を見据えた施策に取り組んでいきます。

収支実績（単独）

◆収支実績

(億円)

		年 度				
		2019	2020	2021	2022	2023
経常 収益	電灯電力料	4,949	4,341	4,586	5,999	6,029
	その他収益	784	1,106	1,466	1,873	2,666
	合 計	5,734	5,447	6,053	7,872	8,696
経常 費用	人件費	566	273	266	273	276
	燃料費・購入電力料	1,931	1,540	2,429	4,549	4,121
	修繕費	799	371	290	358	413
	減価償却費	687	439	435	449	373
	支払利息	111	103	94	94	121
	その他費用	1,361	2,357	2,415	2,492	2,700
	合 計	5,458	5,085	5,933	8,217	8,005
(営業利益)		(364)	(438)	(188)	(△303)	(758)
経常利益		276	362	120	△344	690
渴水準備金引当又は取崩し		△7	△2	1	5	4
特別利益		—	—	—	57	100
特別損失		—	—	—	24	83
税引前当期純利益		284	364	118	△318	703
法人税等		44	38	24	△69	162
当期純利益		239	326	94	△249	541

※ 2020年度から送配電部門の法的分離が実施されたことにより、2020年度以降は北海道電力（株）単独の実績値を記載しています。

主要諸元／財務指標等（単独）

◆主要諸元

	年 度				
	2019	2020	2021	2022	2023
販売電力量(億kWh)	237	226	220	233	234
為替レート(円／\$)	109	106	112	135	145
原油CIF価格(\$／b)	67.8	43.4	77.2	102.7	86.0

◆財務指標等

	年 度				
	2019	2020	2021	2022	2023
売上高(億円)	5,696	5,386	5,979	7,796	8,616
経常利益(億円)	276	362	120	△344	690
当期純利益(億円)	239	326	94	△249	541
純資産残高(億円)	2,017	2,337	2,315	2,027	2,588
自己資本比率(%)	10.7	12.6	12.5	10.4	13.2
有利子負債残高(億円)	14,171	13,928	13,847	14,662	13,972

※ 2020年度から送配電部門の法的分離が実施されたことにより、2020年度以降は北海道電力（株）単独の実績値を記載しています。